

## 金融サービスプラットフォーム『iBank（アイバンク）』における 第一生命グループとの提携について

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（代表取締役社長 柴戸 隆成、以下：FFG）および傘下のiBankマーケティング株式会社（代表取締役社長 永吉 健一、以下：iBank社）は、第一生命ホールディングス株式会社（社長 渡邊 光一郎）および傘下のネオファースト生命保険株式会社（代表取締役社長 徳岡 裕士）との間で、FFGおよびiBank社が展開する金融サービスプラットフォーム『iBank』を活用した商品・サービスの開発・提供、各種マーケティング領域における提携を共同で進めることに関し、本日付で基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 基本合意の目的

FFGでは「お客さま起点」から始まるサービスイノベーションの創出に向けた取組みの一環として、平成28年4月に、金融サービスプラットフォーム『iBank』を立ち上げました。その中核プロダクトとして、iBank社が運営するスマートフォン専用アプリ『Wallet+（ウォレットプラス）』では、スマホ／モバイルファースト時代に即した新しい顧客体験・価値を提供することを目的に、金融と非金融、日常と非日常をシームレスに繋ぐマネーサービスを提供することで、様々な業界・業種の事業パートナー（異業種）との連携によるエコシステム型のビジネスモデルを構築し、個人のお客さまには、金融と非金融が融合した新しい体験を、法人のお客さまには、これまでにないマーケティングの機会を提供することを目指しています。

第一生命グループでは、平成28年1月より、保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを“InsTech”（インステック）と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しており、他業態と連携したエコシステムの実現等も視野に入れ、外部の開発力やアイデアを積極的に取り入れながら生命保険業界全体のイノベーションをリードしていくことを目指しています。

その一環として、ネオファースト生命では、第一生命が持つ約1,000万人のお客さま情報を含む医療ビッグデータ等の解析を行い、リスク細分型の商品や、「保険で健康になろう。」をコンセプトにお客さまの健康増進の促進・支援につながり、健康寿命の延伸に貢献できるような新しい商品の開発を進めています。

本提携により、第一生命グループが推進する“InsTech”によるテクノロジーを活かした商品・サービスと、FFGグループが有する新しい金融サービスプラットフォームを通じて、新たな提供価値を共創し、両グループのお客さまに対し、更なるサービスの向上を目指してまいります。

### 取組み内容

- iBank社が運営するお金管理アプリ『Wallet+』において、第一生命グループのInsTechによる知見を活用しながら、お客さま（＝アプリの利用ユーザー）の特性にあったアプリ専用の保険商品やサービスを開発・検討
- 第一生命グループが持つ保険・健康分野における知見を活用し、健康増進をはじめとする各種情報コンテンツ等を提供

まずは、来年2月を目処に、iBank社の『Wallet+』内において生活習慣の改善など、ネオファースト生命による健康寿命延伸に向けた情報コンテンツの提供を開始し、その後、第一生命グループのノウハウを活用した商品・サービスの共同開発を検討してまいります。

以上

### 《 本件に関するお問合せ先 》

ふくおかフィナンシャルグループ 営業戦略部 iBank推進グループ  
iBankマーケティング 事業開発部 長谷尾・奈須（TEL 092-791-7977）